

■ユー・イー・エス展示会(プライベートショー)レポート

去る2月5日～6日、東京都三鷹市産業プラザで、弊社展示会を開催致しました。

北海道や九州、四国から足を運んでくださったお客様もいらっしやり、弊社個展としては過去最高の、90名を超えるお客様にご来場頂きました。

特に予約制の彫刻セミナーは1月半ばには満席という状況に。

お申し込みをお断りせざるを得なかったお客様には、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

今回お客様の注目を集めていたのは、弊社ユーザ様の出展コーナー『レーザーソーシャルコミュニティ』です。

ユーザ様同士の新しいビジネス機会誕生の場として積極的にご利用頂けたことは、弊社にとっても嬉しい限りです。

また特別出展として、弊社ユーザである、株式会社マーブリングファインアーツ様による、特撮用ミニチュア(映画などの撮影で使われた本物!)の展示が一際お客様の目を集めていました。細かい工夫が成された造形物は、レーザー加工をする上で参考となる部分が多々ありました。

次回は会場を大阪に移し、7月開催を予定しております。近日中に詳しいご案内を致しますので、皆様お楽しみに。



この度はご来場、並びにご協力、誠に有難うございました。

■加工商材カタログLEM4発行と中止商品について

2月度弊社展示会でもご案内いたしました。4月度に加工商材カタログLEM4を発行し、お客様に配布いたします。

新カタログLEM4発行に伴いまして、取り扱い中止および内容変更となる商品を別紙にてご案内させていただきます。中止時期等の詳細を記載いたしております。ご不明の点などがございましたらお問合せください。

担当 商品部 小島 裕

■【不定期連載】技術部Tの”俺の業(WAZA)”

最近ユーザ様訪問時に円錐状のアルミを6～8個ほど用意して、アクリル材料の下にいれ浮かせて切断されている方を見かけます。切り出すものが1～3個くらいであれば設置も楽なのですが、加工する数が多い場合はあまりお勧めできません。理由は切ったアクリル材料が落下後、次に切る加工ポジションの下に入ってしまう事があるためです。レーザー光があたり商品に傷がついてしまうだけならばまだしも、焦点距離のずれたレーザー光が材料に当たった場合、材料が燃えやすくなります。透明な材料ならすぐに発見できますが、不透明な材料の場合、出火に気がつくのが遅れ火災に繋がります。

お勧め方法は切断する材料と同じ厚みか、それ以下の厚みの材料で浮かせる方法です。この方法であれば切断加工後に隣の加工ポジションに落ちてしまうという事がほとんどありません。

※レーザー加工は「材料を焼き切っている、焦がしている」状態に近いです。注意していても材料から炎が出る場合がございます。エアアシスト、集塵状態を再度確認して十分気をつけてご使用下さい。

株式会社 ユー・イー・エス

本社：〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-6-7-6F TEL:0422-36-5111 FAX:0422-36-5113

大阪営業部：〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島3-8-15-1102号

物流・加工センター：〒591-8022 大阪府堺市北区金岡町2786-1(6号)



レーザー加工機のユー・イー・エス

Universal Engraving Systems

URL:www.uesltd.co.jp

E-Mail:info@uesltd.co.jp

TEL:06-6305-4551

FAX:06-6305-4552

TEL:072-240-3005

FAX:072-240-3008

2010/02/25